

こども  
みらい  
風物詩

冬の朝の冷たい空気を

胸いっぱい吸い込んで

元気よく、白い息を吐き

通学路を急ぐ子どもたちの群れ。

見慣れた朝の景色を見守る

暖かな人々のまなざしから

村の新たな一日が

今日も始まるうとしている。

